



市川白猿作
歌川芳信画

遠
2378
362

全本六冊

加三味線閨儿彈上

天保四癸巳年正月發行

東都書肆
甘泉堂梓

沼津

一の系ハ

廊の月おぼけはあまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの
仲の町並みの二階成丁の縁の廻りかへてはるるあまの鳥の
袖おぼけのあまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの

二の系ハ

廊の雪おぼけのあまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの
あまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの
あまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの

三の系ハ

あまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの
あまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの
あまの鳥のまはりにあはれの有明の月おぼけの

五柳亭徳升戯迹

よし
 あつは
 実の
 花
 文
 多摩谷
 新兵衛



出邑
 新兵衛



三國屋
 小女郎

里見の浪人
鶴飼九十郎



雪乃
山里

三国屋四郎兵衛



多摩谷新兵衛
妻母さん

多摩谷新兵衛
妻母さん

Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items, located at the top of the right page.



Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or a note.



Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or a note.

Handwritten text in the upper right corner of the left page, written vertically.



Handwritten text in the lower left corner of the left page, written vertically.

Handwritten text in the upper right corner of the right page, written vertically.



Handwritten text in the lower right corner of the right page, written vertically.

よむひ



おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき

おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき

おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき

よむひ



おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき

おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき

おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき
 おんなのこころ
 さびしき





三十一

三十一



三十二



此の物語は、
 昔の事なれば、
 今も語り傳へ
 人の心を動かす
 物語の神髄は、
 人情の奥にあり
 此の物語は、
 昔の事なれば、
 今も語り傳へ
 人の心を動かす
 物語の神髄は、
 人情の奥にあり



此の物語は、
 昔の事なれば、
 今も語り傳へ
 人の心を動かす
 物語の神髄は、
 人情の奥にあり

江戸流行料理通

八百善主人著
初編二編三編

料理の傳方教お料理の秘傳

料理早指南

初編四編
迄共四冊

插花早指南

初編一冊
二編一冊

日本名所繪

鐵形蕙齋筆
唐紙一枚摺

比翼致意氣地競

國貞画
全三冊

茶番早合點

初編式亭三馬作
二編歌川國貞画

いかに今流行ののりあつた
るのりまてちやなん形ま初め
いかに中かましく出来る様ちやうり

回三編初昔茶番出花

全二冊
近日賣出

一名呑でも多の酒のこまの
強飲即功酒泉醒々丸
京都四條通高瀬西入 中村榮壽軒製

本問屋
地本芝神明前三嶋町
甘泉堂
和泉屋市兵衛



つぎの巻の
より巻の
のりまて
ちやなん
いかに中
かましく
出来る様
ちやうり

和泉屋

癸巳ノ春

新板

市川白猿作
 歌川芳信画
 加三味線
 全五冊
 閨爪彈
 甘泉堂板



齋堂

針題

同

(下)

我紀伊守勢むす

白猿作 全五冊
 芳任画 形刊

茶番早合點三編二冊
 初昔茶番出花

はぢのちやん好の伊方さあへん後
 あつてあつて有るあのかまてはなりのこと
 のそあつてりちりちりちりちりちりちり

慈悲成門人
 櫻川一聲戯作
 慈悲成校合
 歌川國芳画
 芝神明前三嶋町
 和泉屋市兵衛板

四



三の美...
 のあつてりちりちりちりちりちりちり
 のあつてりちりちりちりちりちりちり
 のあつてりちりちりちりちりちりちり

あつてりちりちりちりちりちりちり
 あつてりちりちりちりちりちりちり
 あつてりちりちりちりちりちりちり

あつてりちりちりちりちりちりちり
 あつてりちりちりちりちりちりちり
 あつてりちりちりちりちりちりちり



Handwritten text in vertical columns, likely a dialogue or narrative related to the scene. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes various characters and symbols.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or dialogue from the scene. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes various characters and symbols.





こののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの



おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの

おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの



おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの
おののののの

おののののの

おののののの



九十九多量い
 とてどうあつたか
 こころのつらさを
 わいふもあつたか
 うつろいふ
 さむし
 くのたつた
 ちあやう
 かつた
 九十九多量い
 とてどうあつたか
 こころのつらさを
 わいふもあつたか
 うつろいふ
 さむし



上は...
 あり...
 この...
 の...

市川三升自作
五柳亭德升校合

ついでに...
 仙女香
 美玄香
 右五不
 山手やの
 めいん
 高橋浪彦
 三丁目角
 坂本氏
 製法



仙女香
 美玄香
 右五不
 山手やの
 めいん
 高橋浪彦
 三丁目角
 坂本氏
 製法

金毘羅船利生 第九編 每曲 亭馬琴 作

新編金瓶梅 第二編 每曲 亭馬琴 作

三國志画傳 第六編 全八冊 加三味線 市川駒 作

西顔忍夜櫻 全八冊 立川馬馬 作

睦月深仲町 全六冊 鶴屋南北 作

新古今西行櫻 全六冊 柳亭種彦 作

黒油美玄香 啓元 和泉屋市兵衛



